

ロボット技術を活用した施設点検技術を学習

＝＝第72回 天竜塾※1を開催しました。＝＝ 天竜川上流河川事務所

平成27年9月28日（月）ロボット技術を活用した施設点検技術について、中部地方整備局長野県内4事務所、上伊那・下伊那地域の自治体職員と、中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム※2のメンバーに参加を募り、総勢69名の参加をいただき大盛況に終わりました。



UAVを用いたダム堤体点検、樋管点検ロボットについての座学を実施。



現地にて樋管内部点検のデモンストレーションを実施。



現地デモにてUAV（ドローン）の飛行状況も確認しました。

参加者69名の内訳
長野県内4事務所職員：34名
地方自治体職員：7名
企画部施工企画課職員：2名
中部圏インフラ用ロボットコンソーシアムのメンバー：26名（講師含む）

講師：中部地方整備局企画部施工企画課
パシフィックコンサルタンツ(株)

※1・天竜塾とは、天竜川上流河川事務所に在籍する職員を対象に、業務遂行の一助となる知識・経験・情報等を取得することを目的に開催するものです。今回は、開放講座として、関係組織の参加者を募集しました。

※2・中部圏インフラ用ロボットコンソーシアムとは、産・学・官の関係者が一体となり、社会インフラ用ロボットに関する情報交換、ロボット産業と建設産業の交流促進、ロボット導入現場検証の支援等を行うために設立した組織です。（<http://www.cbr.mlit.go.jp/kensetsu-ict/robot/index.html>）